

参考資料 2

JICのディープテック分野の取組

2023年2月20日
株式会社 産業革新投資機構

JIC

- 株式会社 産業革新投資機構（JIC : Japan Investment Corporation）は、2018年9月、産業競争力強化法に基づき、オープンイノベーションを通じた産業競争力の強化と民間投資の拡大という政策目的の実現に寄与するべく、発足した投資会社です。
- JICは、傘下のファンドや民間ファンドへの投資を通じて、政策的に意義のある事業分野へのリスクマネーを供給します。

JICグループ



株式会社INCJ（設立:2018年9月）

既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足。
産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的とした投資活動を行う。



JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社（設立:2020年7月）

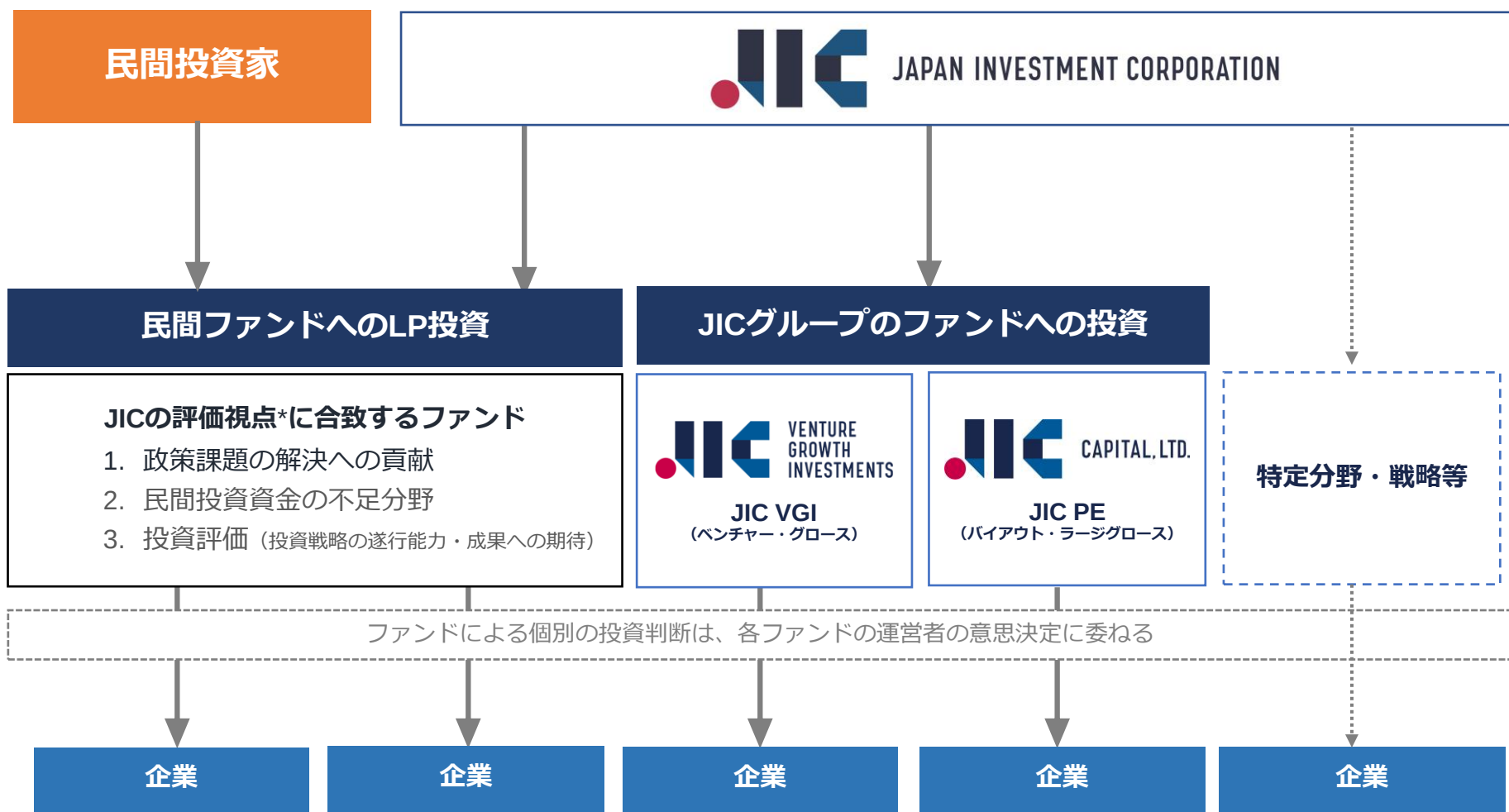
ベンチャー・グロース投資活動により我が国のイノベーションを促進し国際競争力の向上に寄与。産業及び社会課題の解決を目指す。



JIC キャピタル株式会社（設立:2020年9月）

Society5.0実現に向けた新産業の創造、国際競争力強化に向けた事業再編の促進、デジタルトランスフォーメーション（DX）促進をはじめとした次世代社会基盤の構築に向けたリスクマネー供給を担う。

- JIC本体は、原則、ファンドへの投資を行い、JICグループのJIC VGI、JIC Capitalが企業等に対する投資を行う体制。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

- JICが、民間ファンド、グループ子会社2社（JIC VGI、JICC）が運用するファンドに対し、出資約束を行った実績は以下の通り。



JICの出資約束額（12月16日公表分まで）、USD=140円換算

民間のVC・PEファンド



ファンド数 : 24
出資約束総額 : 1,271億円

1号 : 1,200億円 (20年9月設定)
2号 : 2,000億円 (23年1月設定)

1号 : 2,000億円 (20年11月設定)
共同投資ファンド : 9,000億円 (22年10月変更決定)

戦略	地域	ファンド数	出資約束額
VC	国内	18	721億円
	海外	4 (*)	210億円
PE	国内	2	340億円

- 別途「オポチュニティファンド」を23年の春、400億円規模で設立すべく検討中

- 共同投資ファンドについて、20年の設立時に比べ、国内市場で大型案件が増加傾向にあり、JICとして取り組む政策的意義のある案件が含まれ得ることに対応すべく、増額

*主として海外のスタートアップに投資するファンドは、以下の観点から政策的な意義を認め、投資している。
✓ 国内事業会社等のオープンイノベーションの促進
✓ 日本発の創薬シーズを海外のエコシステムを活用し事業化

- 政府において、「スタートアップ育成5か年計画」を策定、公表（11月28日）。スタートアップの起業加速、オープンイノベーションの推進に向け、JICに関しても、
 - ①今後の法改正によるJICの運用期限の2050年までの延長（現在の期限は2034年）
 - ②現状を上回る2倍程度の投資規模のスタートアップに投資するファンドの新設について、盛り込まれた。

今後の取組の方向性

- JIC**としては、引き続き、2022年7月に公表したスタートアップ支援方針に基づき、「**ディープテック**」、「プレシード・シード」、「グロース」、「ゴー・グローバル」などの分野を**重点的に支援**していく。その中で、
 - ① **VGIに2000億円※の2号ファンド**を組成し（1号ファンドは1200億円）、さらに400億円の別ファンドの組成を検討（オポチュニティファンド）。
※グロース:1700億円、**ディープテック・ライフサイエンス:300億円**
 - ② 国内VC、スタートアップと海外VCとの連携強化等を目的とした海外VCへの出資
 - ③ 2050年までの運用期限延長の方向性も踏まえた、JICの組織・活動の在り方の検討※
※スタートアップ支援に加えて、オープンイノベーションによる企業の成長、競争力強化の観点で検討などの具体的な取組を進めていく。

① Society5.0に向けた投資

- AI、IoT、ロボットといった第四次産業革命に関する技術の社会実装の他、バイオ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイス等の国際競争力を持ちうる事業分野に対する、長期かつ大規模なリスクマネーを供給する。

ディープテック

- ✓ ①デジタル技術も活用した、フィジカル技術ベースの非連続なイノベーションに基づき、②社会課題の解決に大きなインパクトをもたらす可能性を有する技術で、③その研究開発段階から上市までに長い期間と相当程度の資金を要するディープテックの研究開発・社会実装を支援する。



ライフサイエンス・バイオテック

- ✓ スタートアップと製薬会社とのオープンイノベーションによる革新的新薬の開発をはじめ、医薬品、医療機器、ヘルステック、バイオテクノロジーなど、ライフサイエンス分野のイノベーションを支援する。



カーボンニュートラル・クライメートテック

- ✓ クライメートテック領域の革新的イノベーションや新たなビジネスの創出を支援し、地球温暖化対策を経済成長に繋げるとともに、世界の脱炭素化に貢献する。



オープンイノベーション

- ✓ 米国、東南アジア、インド、イスラエル等の先進的な技術等を有するスタートアップと日本企業との事業提携等によるオープンイノベーションを促進し、革新的なビジネスの創出を支援する。



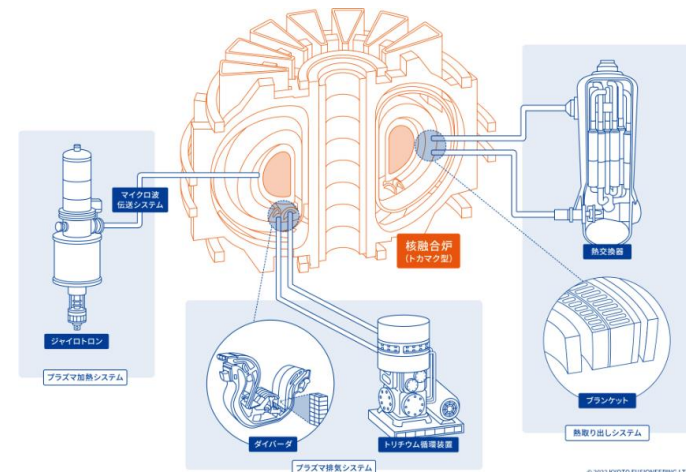
ディープテック投資

- ディープテック投資枠：150億円
- ステージ：アーリー
- 代表例：
 - 量子情報技術・高度情報処理技術
 - クライメートテック
 - 機能性素材・バイオ・合成生物学
 - ネットワークアルゴリズム
 - 革新的エンジニアリング
 - 新エネルギー・脱炭素化技術
 - 宇宙利用技術
 - ロボティクス など

投資例（VGIの1号ファンド）



京都フュージョニアリング
(核融合スタートアップ)



© 2021 KYOTO FUSIONEERING LTD. All Rights Reserved.

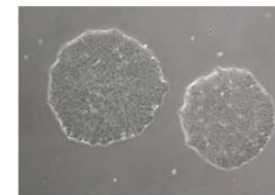
ライフサイエンス投資

- ライフサイエンス投資枠：150億円
- ステージ：アーリー
- 代表例：
 - 革新的創薬
 - AI創薬支援
 - メディカルデバイス
 - バイオインフォマティクス
 - デジタルヘルスケア など

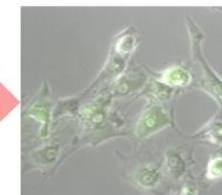
投資例（VGIの1号ファンド）



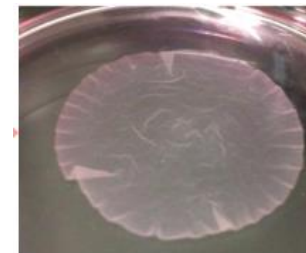
クオリプス
(iPS細胞心筋シート)



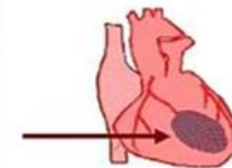
iPS細胞 (feeder free)



iPS由来心筋細胞
(拡大画像)



iPS心筋細胞シート



心筋シート移植

- VGF1号は、新産業育成（政策課題の解決）と収益性の実現を両立するポートフォリオ構築を進めた。
- 産業・社会インパクト、社会実装による産業課題の解決に関する仮説を持ち投資を実行。
- 投資実行後もESG、SDG'sを重視したモニタリングを実施。

データ・コアテック



プラットフォーム



Go global



産業DX



ネットワーク/IoT



Fintech



D to C



ライフサイエンス/創薬



Renewable Energy



レガシードラフ フォーメーション



ディープテック



JICの投資先ファンド一覧（2023年2月6日時点）



株式会社産業革新投資機構

- ・ JICとして、ディープテック分野に注力するファンド（ポートフォリオの一部でディープテック分野の投資に新たに取り組むファンドを含む）を支援している（以下で黄色ハイライト）。

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
①	2020年 7月8日	JIC ベンチャー・ グロース・ファンド 1号投資事業有限責 任組合	1,200億円	ベンチャー・グロース領域に十 分なリスクマネーを供給し、呼 び水効果、業界連携、オープン イノベーション促進による日本 の国際競争力向上、産業及び社 会の課題解決を企図	✓	✓	✓	
②	2020年 9月9日	JIC PEファンド1号 投資事業有限責任組 合	2,000億円	大規模・長期・中立的なリスク マネー供給を通じて、Society 5.0 の実現に向けた新規事業・新 産業の創造、国内産業の国際競 争力強化、業界の再編を企図	✓			✓
③		JIC PE共同投資ファ ンド1号投資事業有 限責任組合	9,000億円 (2022年10月27日 変更決定)	国際競争力強化に向けた大規模 な事業再編に際して、JICとの共 同投資を実施	✓			✓
④	2020年 12月8日	Beyond Next Ventures2号 投資事業有限責任組 合	40億円	医療・ヘルスケア分野をはじめ 大学・研究機関・企業の有する 優れた技術シーズの事業化に注 力。産学連携による技術系ス タートアップへのインキュベ ーション投資を実施	✓	✓	✓	

* コミットメント額

(C) JIC. All Rights Reserved.

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額 *	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
⑤	2021年 2月26日	Catalys Pacific Fund, LP	30百万 米ドル	国内製薬会社や大学等から化合物を導入し、グローバルでの開発を実施。創薬スタートアップとの協業によるオープンイノベーション創出についての知見共有や人材育成により創薬エコシステム醸成に寄与	✓	✓		
⑥	2021年 4月19日	ANRI 4号 投資事業有限責任 組合	29.5億 円	ディープテック領域やインターネットとディープテックの融合領域にリスクマネーを供給。研究開発型スタートアップに対する人材面での支援を行うほか、女性キャピタリストや女性起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図	✓	✓		
⑦	2021年 5月7日	みやこ京大イノベーション2号 投資事業有限責任 組合	41億円	アカデミア発ディープテック・スタートアップにリスクマネーを供給。Society5.0の実現に向けた高度な専門技術の開発や社会実装を支援。各地の大学との連携により、地方に眠る将来性ある技術の活用と技術系スタートアップのエコシステム醸成に貢献	✓	✓	✓	
⑧	2021年 12月3日	DRONE FUND3 号投資事業有限責任 組合	30億円	世界でも珍しいドローン・エアモビリティ特化型 VC。ハード・ソフト両面に加え、ドローン関連サービスや、ドローンに応用可能なテクノロジーの開発・提供を支援。地方発の案件発掘にも注力	✓	✓	✓	

*コミットメント額

(C) JIC. All Rights Reserved.

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方 の技術	事業 再編
⑨	2021年 12月13日	UC ヘルスケア・ プロバイダー 共同投資事業有限 責任組合	240億円	地域の医療機関やヘルスケア事業者に対する支援を行うとともに、各関係機関の連携を図り、ヘルスケア業界における生産性の向上と、質の高いヘルスケアの効率的な提供に寄与。国内初の総合ヘルスケア・プロバイダーの創出を目指す	✓			✓
⑩	2021年 12月24日	Sozo Ventures III, L.P.	50百万 米ドル	北米の有力スタートアップに対する投資と、日本の事業会社に対する事業提携の機会の提供等を主軸とした投資戦略。米国内外のスタートアップ、スタートアップエコシステム、アカデミアに深いつながりを持ち、スタートアップの国際展開支援に取り組む	✓			
⑪	2022年 1月26日	ANRI-GREEN 1 号投資事業有限責 任組合	30億円	先行投資と長期の運用を伴う、Climate Tech 領域のディープテック・スタートアップへ投資。同領域における民間投資資金の流入や、産業の育成、アカデミア発のスタートアップへの支援を通じた研究開発や社会実装の推進を企図	✓	✓		
⑫	2022年 1月31日	Genesia Venture Fund 3号投資事 業有限責任組合	55億円	国内の独立系VCとして、プレシード/シード期のスタートアップに積極的に投資。東南アジアの日系企業と現地スタートアップとの提携支援等に取り組む数少ないファンドの一つ。現地のスタートアップエコシステムに参入し、業務提携や資本提携を締結させるなどの実績を有する	✓	✓		

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
⑬	2022年 3月7日	WiL Ventures III, L.P.	100百万 米ドル	東京と米国シリコンバレーに拠点を有し、国内外の有望なスタートアップに投資。国内事業会社等への啓蒙・支援活動を通じてオープンイノベーションの促進を図ると共に、海外の拠点・ネットワークを活用し、国内事業会社等と海外スタートアップとの事業提携等の創出を図る。また、国内投資先に対する海外展開支援等により、日本発ユニコーン企業の創出にも取り組む。	✓	✓		
⑭	2022年 4月5日	IAパートナーズ1号 投資事業有限責任 組合	100億円	主にエレクトロニクス、化学、ヘルスケア、物流および消費財等の中堅企業を対象としたカーブアウト・ロールアップを主軸とした投資戦略。日本が国際競争力を持ちうる事業分野における、既存企業による産業や組織の枠を超えた事業再編に取り組む。				✓
⑮	2022年 4月15日	QB第二号 投資事業有限責任 組合	25億円	九州を中心として、九州大学ほかの地方大学との関係を築き、連携を強化することで、地方に眠る技術シーズの掘り起こしに積極的に取り組み、地方大学発の技術系スタートアップに対する投資を実施。	✓	✓	✓	

*コミットメント額

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コー ン	地方 の技 術	事業 再編
⑯	2022年 5月11日	DIMENSION2号 投資事業有限責任 組合	30億円	デジタルビジネス、ヘルスケア、 ディープテック等の領域のスタート アップに投資。MBOやスピンアウト によるスタートアップの設立支援な ど、オープンイノベーションの促進、 新規事業の創造にも取り組む。	✓	✓		
⑰	2022年 6月10日	Apricot Venture Fund 2号 投資事業有限責任組合	20億円	プレシード／シード期のスタート アップへの投資に注力し、新規事業 にチャレンジする起業家を積極的に 支援。デジタル技術を中心に、 Society 5.0 に向けた新規事業・新産 業の創造に資する分野への投資にも 取り組む。	✓	✓		
⑱	2022年 7月5日	グロービス7号ファンド 投資事業有限責任組合	80億円	企業価値として数千億から1兆円規模 に成長する、日本を代表するスター トアップの輩出を目標とした投資戦 略を掲げ、その中で、日本発のグ ローバルユニコーン創出を目指す。 また、グローバルユニコーンを生み 出す国内VCのロールモデルを目指す。	✓	✓		
⑲		グロービス7号Sファン ド投資事業有限責任組合						

*コミットメント額

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
②①	2022年 7月6日	Catalys Pacific Fund II, LP	30百万 米ドル	国内製薬会社等から有望な化合物を導出し、グローバルで開発を推進。創薬スタートアップとの協業によるオープンイノベーション創出に関する知見共有・人材育成を通じ、創薬スタートアップ・エコシステム醸成に寄与	✓	✓		
②①	2022年 7月20日	ANRI 5 号投資事業 有限責任組合	50億円	ディープテック領域や、デジタル技術によりサイバー空間とフィジカル空間の融合を促進する領域にリスクマネーを供給。プレシード／シード期の研究開発型スタートアップに対する人材面の支援を行うほか、女性のキャピタリスト・起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図	✓	✓		
②②	2022年 8月23日	WUV 1 号投資事業 有限責任組合	30億円	アカデミア発ディープテック・スタートアップの支援を通じて、大学等が有する技術シーズの社会実装を促す。海外の大学、研究機関やVCとの連携などにより、投資先スタートアップのグローバルでの研究開発や事業展開を推進	✓	✓		

*コミットメント額

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
②③	2022年 9月16日	EEI 5 号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合	30億円	環境エネルギー特化型ファンドとして Energy Transition、Mobility & Transportation 及び Smart Societyの3つの投資領域を設定し、当該領域で脱炭素を中心に持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップに対して投資を行う	✓	✓		
②④	2022年 10月12日	DNX Partners Japan IV, LP	60億円	日本と米国に拠点を持ち、SaaSモデル導入によるディープテックの社会実装等、Society 5.0に向けたディープテック領域の新規事業の創造を企図。また、米国市場の知見を活かした、国内スタートアップの海外進出支援を推進	✓	✓		
②⑤		DNX Partners Annex Japan III, LP	30億円	既存ファンドの投資先のうち、有望なスタートアップに対してフォローオン投資を行い、新規上場前の更なる成長を促す。海外進出支援を推進しつつ、SaaS領域を中心としたユニコーン創出を目指す	✓	✓		

*コミットメント額

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
②⑥	2022年 12月9日	Spiral Capital Japan Fund 2号 投資事業有限責任組合	30億円	ユニコーンの創出を目指し、フィンテック・ヘルスケア・スマートインフラを重点投資セクターとしつつ、ディープテック領域にも投資を行う。また、投資先スタートアップと国内事業会社等によるオープンイノベーションを推進	✓	✓		
②⑦	2022年 12月15日	KUSABI 1号投資 事業有限責任組合	26億円	独自のアクセラレーションプログラムによるソーシングなどを通じ、プレシード/シード期からの垂直統合型支援により「ユニコーン」を含めた1兆円企業の輩出を目指す。	✓	✓		
②⑧	2022年 12月16日	JIC ベンチャー・グロース・ファンド2号 投資事業有限責任組合	2,000億円	グロースステージのスタートアップへの支援を主戦略とする1号ファンドの投資戦略を踏襲しつつ、ディープテック・ライフサイエンス領域のアーリーステージ以降のスタートアップへの支援を強化。 ユニコーン創出・Society 5.0実現を企図	✓	✓	✓	

*コミットメント額

No.	公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
②⑨	2023年 1月31日	New Enterprise Associates 18, L.P.	50百万 米ドル	1977年に米国で設立され、100社近いユニコーン創出の実績とグローバルで最大規模の運用総額を有する。テクノロジーおよびヘルスケア領域において、アーリーステージからグロースステージまで一貫した支援を行う		✓		
③①		NEA 18 Venture Growth Equity, L.P.	50百万 米ドル					
③①	2023年 2月6日	Saisei Bioventures, L.P.	30百万 米ドル	主に、細胞・遺伝子治療や再生医療を中心としたライフサイエンス領域を投資対象とし、シード、アーリーステージのスタートアップを中心に投資を実施。国内事業会社やアカデミア等が有する技術や研究成果について、米国のエコシステムを活用し、その事業化を目指す。	✓	✓		

*コミットメント額

注意事項

- 当資料は、JICグループの投資活動を説明するために作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は、特定の金融商品等の取得・勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料に掲載されている情報は、当資料の作成日時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料の作成には万全を期していますが、利用者がこの情報を用いて行う一切の行為（この情報を編集・加工した情報を利用することを含みます）について、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載されている内容の著作権は、当資料に記載された関係者ないし当社に帰属しており、目的を問わず、無断で複製、引用、転載等を行うことはできません。